

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
SES藤枝みなみ校		令和7年 11月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動内容によって、机を片付けるなど広くスペースをとるようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	2	運営基準は満たしています。子どもの状況を理解し、職員間の連携を取り支援しています。	人数は適切だが、子どもの状況により、配置以上に職員が必要だと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		室内は遊びと学習スペースを分け、玄関に今月の予定表、今日の活動について掲示しています。室内にも今日の予定表を掲示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		室内は空気清浄機を使い空気を循環し、空調設備を整え、終了時には室内の清掃、おもちゃの消毒など毎日行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて個別で対応できるように整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	日々の活動は担当職員から全職員に示され共通認識のもと活動が行われています。行事は何度もミーティングを重ね、振り返りも行われています。	今まで以上にもっと、明確な目標を設定し全職員が理解し支援をし振り返りを繰り返し、次の支援につなげていけるようにしていきたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表だけでなく、常日頃から保護者様の声に耳を傾け業務改善につなげています。	今回の評価表で保護者の意向を把握し指摘のあったところは改善していく必要があると思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員ミーティング、朝礼、夕礼で話し合う機会を作り業務改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	外部評価は行っていないですが、法人内研修や外部研修などを行い、気付きを業務改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に法人研修を行い、外部研修も積極的に参加しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムは作成され、ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		子どもの変化に対応し、保護者のニーズを聞き、情報共有をし課題を分析し児童や保護者に合った支援ができるように連携を図っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員によるモニタリングを行い、計画を作成しています。	子どもにかかわる全職員が意見を出し合い支援につなげ、共通理解ができるようにしていきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画書は全職員が共有し、共通理解のもと支援にあたっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		適応行動の際の指示書を個別に作成し、日々の行動観察にも記載しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		計画書は、個々の特性を踏まえ、子どもにとって必要な支援を設定し支援内容が書かれています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動内容は担当職員が中心になり、ミーティングで話し合いを重ね、全職員に情報共有されています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		一部固定化されたものもあるが、多くの子ども達に体験、参加をしてもらいたいので、変化のある活動をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の子どもにより、個別、集団活動を組み合わせ計画し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼にて打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		夕礼で振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日報に活動内容等を記録し、個別観察記録を用いて支援を振り返り次の支援につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングを行い概ね6か月ごとに計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		社会性を身につける、創作活動など様々な訓練を活動に取り入れて支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自己選択や自己決定ができるようになるために、買い物体験を行ったり、活動中に自己決定をする場面を作り自分が決めたことを守るという練習を重ねています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		就学前の情報も聞き取りをし、学校や行政と連携し情報共有をし支援につなげています。医療に関しては保護者からの聞き取りをさせていただいています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校行事、下校時間等は保護者から連絡をもらうことになっています。学校からも直接ご連絡をいただくこともあります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		相談事業所を通して情報をいただき、必要であれば直接連絡を取って情報を共有させていただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		相談支援専門員を通して情報共有を行っていますが、直接対応することもあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	児童発達支援センターの研修に参加しています。担当者会議や研修棟でアドバイスや助言をいただく機会があります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	イベント参加など地域交流は積極的に行っている。SES間で事業所交流はしている。	今後も、より積極的に地域参加もしていきたい。学童併用の子もいるので、学童との交流も考えていきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		管理者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に、子供の様子をお伝えし、またご家庭での様子も聞かせていただき情報共有して連携を取りながら支援につなげています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		事業所としてペアレントトレーニング等はありませんが、研修などは掲示やお便りでお知らせしています。また、相談があった場合は丁寧な対応を心がけアドバイスができるようにしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明させていただき、問い合わせ等にはその都度丁寧に説明させていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者との情報共有の中での出るニーズや子供の意向に耳を傾け計画書を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		計画書の内容を説明しサインをいただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者からの相談には、迅速な対応を心がけ、面談を行いアドバイスなどを行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		8月に夏祭りの際に保護者会を開催しました。夏祭りの中で、保護者同士の交流の時間をとったり、兄弟参加もしていただきました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった際は迅速かつ適切な対応をしていきます。また、法人内でも共有し対応していきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月のお便りで行事や活動をお知らせしています。今年度からInstagramを始めました。	SNSの活用を増やし情報発信していきたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の管理は徹底しています。書類は書庫で管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個々に合った方法でコミュニケーションが取れるように配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	地域住民を招待することはありませんが、地域行事には参加しみなみ校を知っていただき理解を深めていただいています。	今後も地域の行事に参加し様々な体験をし、多くの方々にみなみ校の活動を知ってもらえるようにしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		それぞれのマニュアルを想定し職員の周知を図り、契約時に保護者様に説明させていただいています。問い合わせがあった際はご説明させていただいています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画を策定し、毎月1回避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		てんかん発作の対応については保護者と紙面で対応策を共有しています。服薬に関しても子どもの状況を聞き情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		医師の指示に基づく指示書はないが、アセスメントシートへに記入をいただき、個別に聞き取りを行い対応を決めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		子ども達が安全に過ごせるように研修を行い、安全管理をした中で活動しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		非常時の緊急連絡先を明確にし保護者様との連携を密にし、子どもたちが安全に過ごせるようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事業所内で共有し、検証を行い支援につなげています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止の研修に参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束については事前に保護者様に十分な説明をさせていただきご理解の上、同意書と個別支援計画に記載しサインをいただいています。	